

2019年2月



桃寿苑

だより

1日 (金)	血压体重・診察日 節分茶会		16日 (土)		
2日 (土)			17日 (日)		
3日 (日)			18日 (月)		
4日 (月)			19日 (火)		
5日 (火)			20日 (水)		アッピー コーラス
6日 (水)		アッピー コーラス	21日 (木)		
7日 (木)			22日 (金)		レク
8日 (金)	ホーム喫茶	レク	23日 (土)		カラオケ
9日 (土)		カラオケ	24日 (日)		
10日 (日)			25日 (月)	ホーム喫茶	
11日 (月)	(建国記念の日)		26日 (火)	避難訓練	
12日 (火)		アッピー	27日 (水)	席替えくじ	アッピー
13日 (水)	誕生会		28日 (木)	席替え	
14日 (木)					
15日 (金)	血压検温 診察日				

散歩道

施設長 坂巻 政美

平成 31 年となり、早 1 ヶ月が過ぎようとしています。昨年末から雨が降らず、空気が乾燥した状態が続いています。インフルエンザは埼玉県が流行警報を出しました。幸いにも現時点で桃寿苑ではインフルエンザは流行していません。入居者皆様方のマスク着用、うがい・手洗いが徹底されているからだと思います。人ごみに出かけられるときは、特に予防に注意していただきたいと思います。また、お部屋の湿度についてもよろしくお願ひします。

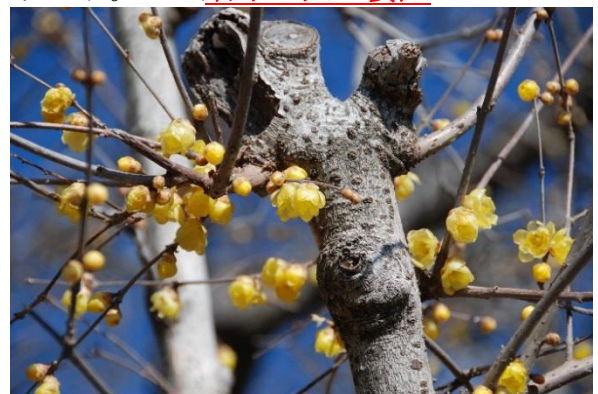
新聞に「あしがくぼの氷柱」(秩父郡横瀬町)の記事が、写真とともに出たので1月の連休中に行ってきました。もう一箇所、蠟梅で有名な宝登山山頂が目的地です。圏央道を使って約1時間半、氷柱に到着。人工的な氷柱に感動。写真を撮りつつ、甘酒をいただき、しばし暖を取りながら鑑賞。ここは秩父の三大氷柱の一つだそうです。観光客も多かったようです。ライトアップもあるようですので、また違った表情が見られそうです。秩父三大氷柱とは、

- 三十槌の氷柱――岩清水が凍結することでできた、天然の氷柱
- 尾ノ内百景(冷っけえ〜)氷柱
両神山を源流とし、つり橋等から眺められる氷柱
- あしがくぼの氷柱――横瀬町住民が造る幅125m以上もの大きな氷柱。西武秩父線から氷柱を見ることができるそうです。



(右下に人の姿)

次に、長瀬の宝登山の山頂にある蠟梅を見に行きました。まだ三分咲きくらいでした。古木が多く、枝が大きくないのでちょっとさびしい感じでした。お天気には恵まれていたので、青空と淡い黄色の色合いがとてもきれいでした。風もなく行楽日和でした。雨はほしいですが雪になると困りますが、晴れの日がいつまで続くのでしょうか。



蠟梅

2月行事予定

節分茶会

日時・・・2月1日(金) 14:30～

鬼はそと～福はうち～

皆でたくさんの福をよびこみましょう。



今月のお誕生者

4日

5日 城田 みどり さん (職員)

20日

10日 野村 まさみ さん (〃)

23日 毛利 健治 さん



<苑より>

今シーズンのインフルエンザは12月初めに流行期に入り昨年末に患者数が増加したため1月8日に流行注意報を発令しましたが、1月に入りさらに患者数が増加しています。平成31年1月7日から13日の1医療機関当たりの報告数は前週の13.65人から41.02人へと大幅に増加し、県全体で国の定める警報の基準値である30人を超えました。

埼玉県は16日、インフルエンザの流行警報を発令しました。警報発令は昨年より1週間早いとのこと。

今後、さらなる流行の拡大も懸念されるため、引き続き注意して下さい。

マスクの着用、手洗い・消毒の励行、適度な湿度の保持が重要です！！

<事務より>

2月は年金の源泉徴収票等が届く月です。来年度の入居料の算定に必要なものです。**コピーの必要な方はコピーをいただいてから、直接お渡しします。**

新しく、丹野 清子さん(1月6日)

入居されました。皆さん宜しくお願いします。





<うるう年とは?>



現在の日本で使われている「太陽暦」の1年は、365日とされています。これは地球が太陽のまわりを1周するのにかかる日数ですが、実は1年につき6時間ほど足りません。そのため4年経つと、6時間×4＝24時間、つまりあと約1日分の時間が、地球が4年前にいたもとの位置に戻るために必要になるのです。

そこで、紀元前1世紀に太陽暦を使い始めたローマでは、「西暦の年号が4でわりきれ年」をうるう年と定め、4年に一度、1年の日数を1日増やして調整するようにした・・・というわけです。

ただ、この調整は完璧なものではありません。本当のズレは6時間ではなく5時間49分なので、うるう年を設定したことで、実は1年につき約11分の増やしすぎになっています。

そのためさらなる微調整が必要になり、16世紀に例外として「西暦の年号が100でわりきれる&400ではわりきれない年」は、うるう年にはならないというルールができました。

本来、400年が経つと、11分×400＝4400分÷73時間、つまり約3日分の時間が増えてしまいます。そこで、うるう年を3回減らすことで、約3日分の時間を減らすことにしたのです。

例えば、西暦2100年、2200年、2300年は、うるう年にはなりません。西暦2400年はうるう年となります。

それでは、うるう年はなぜ2月にあるのでしょうか？それは「2月が一番短い月だから」という理由だけではありません。古代ローマの1年は現在の3月から始まり、2月で終わりを迎えていました。そのため、わかりやすく最後の月となる2月に、うるう年を設定した、とされています。

他の月が30または31日なのに対して、2月だけ28日なのはなぜでしょう？それはローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスが紀元前8年に8月の日数を30日から31日に変更したため、最後の月の2月から日数を差し引いたためである。

(発行)

〒362-0016 埼玉県上尾市原新町27-1
 社会福祉法人 たてば友愛会
 軽費老人ホーム 桃寿苑
 ☎ (048) 775-1101

